

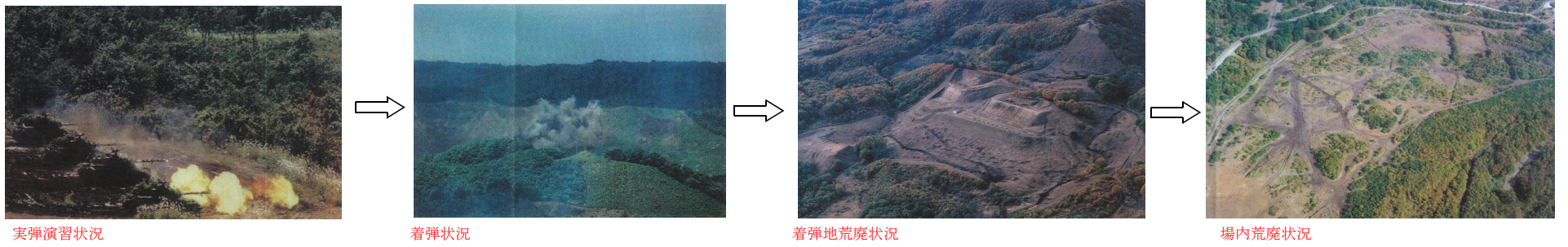
宮城県王城寺原補償工事事務所の事業概要

<王城寺原演習場>

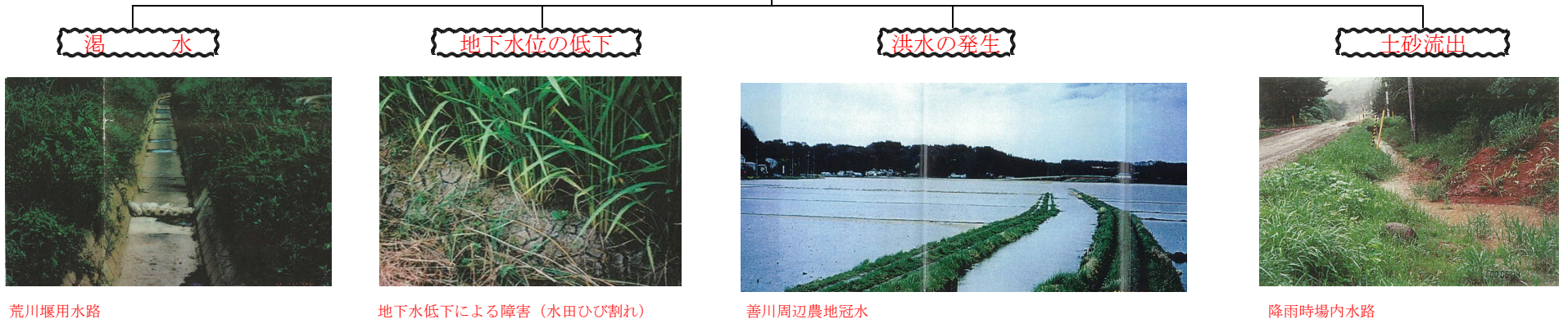
防衛施設王城寺原演習場は、黒川郡大和町、大衡村、加美郡色麻町に所在し、その面積は4,651haである。明治14年から旧陸軍が使用し、昭和20年米軍に接収され昭和33年に返還されたが、米軍及び陸上自衛隊の演習はその使用頻度も高く、近代装備の車両の走行、重火器の実弾射撃、キャンプ場や壕の設置及び場内道路の開設等により、山肌の剥離、崩壊層の攪乱及び立木の伐採や焼失などから場内は荒廃状況にある。

このため、水源涵養能力の減退から洪水流出や土砂流出の増大を招き、農地、公共施設に被害を与えるとともに、地下水位の低下や河川低水流量の減少により、農業用水の不足に拍車をかけることとなり、水田農業の経営に障害が発生している。

演習による演習場内の荒廃



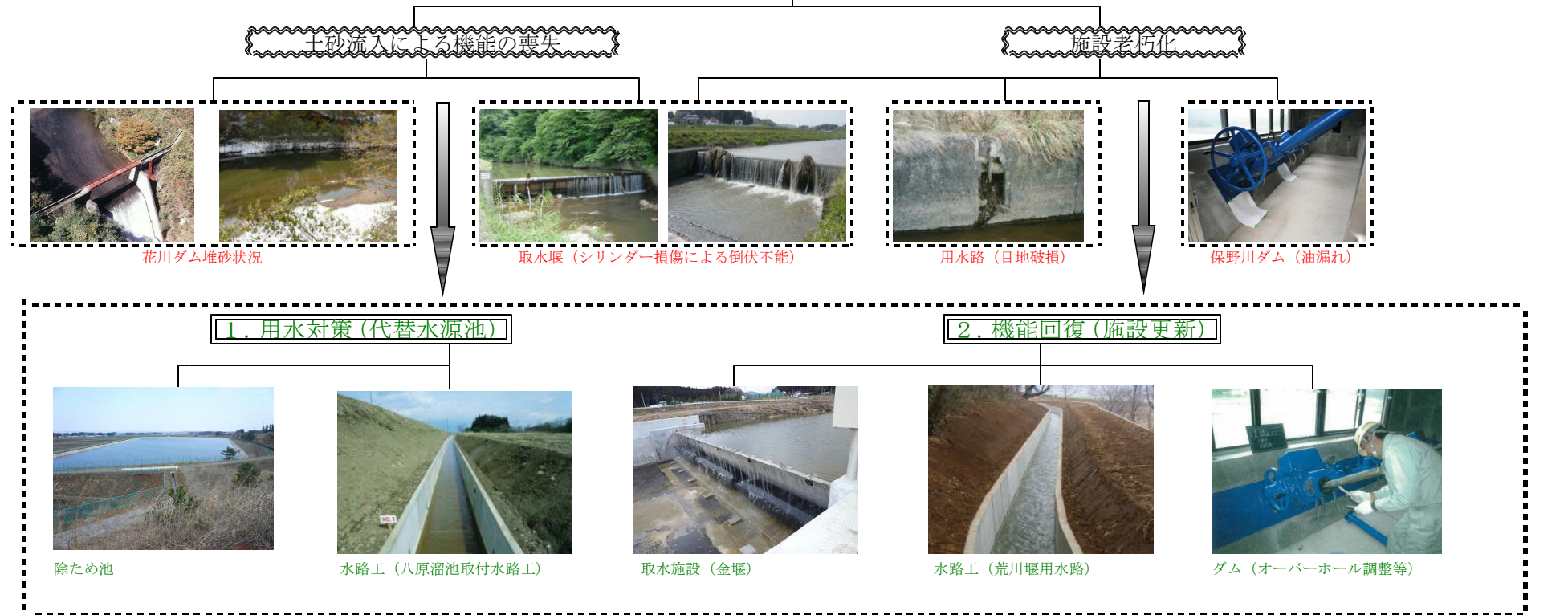
水源涵養能力の減退



対策



経年変化



重点施策

1. 用水対策
保水力の低下による用水不足に対応するため下記施設を整備する
①ため池工 ②用水路工
2. 洪水対策
洪水により損傷を受けた下記施設の整備をする
①取水堰
3. 機能回復対策
耐用年数を超過し機能が低下した下記施設の回復を行う
①ダム ②水路工

1. 用水対策の推進
2. 洪水対策の推進
3. 機能回復対策の推進